

彙報

昭和五十八年度 仏教文学会大会報告

日時 六月十八日～同十九日

会場 立正大学・大崎校舎

二号館二四九番教室

〈第一日 六月十八日(土)〉

挨拶 立正大学学監 中尾 堯

シンポジウム

(一四・〇〇～一七・〇〇)

仏教と和歌―西行をめぐって―

東京大学 久保田 淳

東洋女子 山木 幸一

短期大学 山田 昭全

大正大学 岩佐美代子

(司会) 鶴見大学

懇親会(一七・三〇～一九・三〇)

会場 大橋家

(電話〇三一四九一一六〇三七)

〈第二日六月十九日(日)〉

研究発表

〈午前の部〉(一〇・〇〇～二二・〇〇)

武田泰淳の文学と仏教

大正大学 小嶋 知善

発心集と法華經—形成過程考—

立正大学 岩田 諦静

防長の盲僧

大東文化 成田 守

求道と認識—道綱母と紫式部—

帝京大学 石原 昭平

役員会(一三・〇〇〇〜一四・〇〇〇)

総会(一三・〇〇〇〜一四・〇〇〇)

研究発表

〈午後の部〉(一四・〇〇〇〜一六・〇〇〇)

建礼門院の内向性

稲沢女子

短期大学

説教師の墮落と教育的効果

鹿兒島

女子大学

「乃至童子の戯れに」考

同朋大学

「あはれ」の語の考察を通して—

沼波

「乃至童子の戯れに」考

大阪女子

「乃至童子の戯れに」考

大阪女子

なお、役員会・総会では①五十七年度決算、五十八年度予算について討議・承

認された。

東部部会(昭和五十八年度例会)報告

五月二十一日(土) 於 立正大学

幸田露伴と仏教

紹介「困果業鏡図巻」と

「逸名古写本(談義説話資料)」

九月十七日(土) 於 立正大学

「発心集」の執心話について

海老原雅人氏

「訳話集」について

塚田 晃信氏

〇十月例会は、中古文学会・東洋音楽学

会の大会のため、例会中止を委員会

決定した。

十一月十七日(土) 於 立正大学

「義経記」巻七・八の管理者をめぐって

佐藤 陸氏

本覚思想と日本文学

田村 芳朗氏

十二月十七日(土) 於 佛教大学

(東西合同例会)

西部部会(昭和五十八年度例会)報告

五月二十一日(土) 於 龍谷大学

無住と説話—主に奘鏡について—

下西 忠氏

『一遍聖絵』の詞章をめぐる問題

梅谷 繁樹氏

九月十七日(土) 於 大谷大学

沙石集慶長本をめぐって

片岡 了氏

すく(好)このむ(好)から見た

長明・兼好たち

十月十五日(土) 於 京都女子大学

山・里・女人

西口 順子氏

中世聖徳太子伝『正法輪蔵』の形成過

程—「聖徳太子滅後奇特」をめぐっ

て—

十一月十九日(土) 於 花園大学

拾遺和歌集における貴之人磨

中 周子氏

春雨物語「樊噲」の結末と「雲居和尚年

譜」の関連について

十二月十七日(土) 於 佛教大学

(東西合同例会)

「今昔物語」の「貴シ」と「微妙シ」

高橋 貢氏

「玉葉」を読む 高橋 貢一氏

(例会後、参加の東部会員諸氏をまじえて、忘年会を錦鶴においてなごやかに行った。)

一月二十一日(土) 於 同志社大学

(説話伝承学会との合同例会)

説教と絵解き—特殊念仏講を中心とし

て—

菊地 武氏

「平家」祇園精舎の段について—仏教

文学か説話か—

渡辺 貞麿氏

昔話「大歳の客」伝承

黄地百合子氏

閑吟集のたたらうた

真鍋 昌弘氏